

平成24年度事業報告書

I 法人の概要

1 設置する学校

東京聖栄大学

健康栄養学部 管理栄養学科
食品学科

聖徳調理師専門学校 (平成25年4月校名を東京聖栄大学附属調理師専門学校と改称)
調理師専門課程 調理師科

東京聖栄大学附属わたなべ幼稚園

2 入学定員、学生数の状況

平成24年5月1日現在

東京聖栄大学

		入学定員	収容定員	現 員
健康栄養学部	管理栄養学科	80	320	342
	食 品 学 科	80	320	278
	計	160	640	620

聖徳調理師専門学校

		入学定員	収容定員	現 員
調理師専門課程	調理師科	80	80	63
	計	80	80	63

東京聖栄大学附属わたなべ幼稚園

	入学定員	収容定員	現 員
計	300	300	304

3 役員、教職員の概要

平成24年5月1日現在

役員数

理事	9	監事	2
----	---	----	---

教職員数

区分	法人本部	大学	専門学校	幼稚園	計
専任教員数		40	4	13	57
専任職員数	4	23	5	4	36

4 法人の沿革

本法人は東京都葛飾区の現在地に昭和22年洋裁学院を創立、同29年栄養士養成施設聖徳高等栄養学校設立の後、聖徳栄養専門学校に校名変更し、同校は昭和38年聖徳栄養短期大学に昇格しました。また、聖徳栄養専門学校調理師科から独立した調理師学校は昭和52年専修学校 聖徳調理師専門学校として認可、同年千葉県鎌ヶ谷市に幼稚園を開設しました。平成17年には短期大学を四年制大学へと改組、名称を東京聖栄大学として開学し今日に至っています。平成19年、創立60周年を機に法人名を学校法人東京聖栄大学と改称しました。

- 昭和22年 4月 オリムピア洋裁学院開校。
- 昭和23年10月 財団法人オリムピア学園設立認可。(文部大臣)
- 昭和26年 3月 学校法人オリムピア学園に組織変更認可。(東京都知事)
- 昭和29年 3月 聖徳高等栄養学校設立認可。(東京都知事)
- 昭和29年 4月 聖徳高等栄養学校を栄養士養成施設として指定。(厚生大臣)
- 昭和32年 8月 オリムピア洋裁学院を「聖徳服飾専門学校」
聖徳高等栄養学校を「聖徳栄養専門学校」に改称。
- 昭和35年 2月 聖徳栄養専門学校に調理師科を設置。調理師養成施設として指定。
(厚生大臣)
- 昭和38年 1月 聖徳栄養短期大学の設置認可。(文部大臣)
- 昭和38年 3月 聖徳栄養短期大学食物科第1部(後に食物栄養科さらに食物栄養学科第1部と改称)を栄養士養成施設として指定。(厚生大臣)
- 昭和39年 3月 聖徳栄養専門学校の短期大学昇格に伴い同校栄養本科を廃止、
4月1日より校名を「聖徳調理師学校」と変更。
- 昭和41年 4月 聖徳服装専門学校を「聖徳服装学院」と改称。
- 昭和52年 2月 聖徳服装学院及び聖徳調理師学校を専修学校として認可。(東京都知事)
聖徳服装専門学校、聖徳調理師専門学校と改称。
- 昭和52年 3月 聖徳栄養短期大学附属わたなべ幼稚園設置認可。
- 昭和60年12月 短期大学食物栄養学科第1部専攻課程設置認可。
(食物栄養専攻、食品科学専攻) (文部大臣)
- 平成元年 4月 短期大学食物栄養学科第1部を同第2部廃止に伴い「食物栄養学科」と改称。
- 平成 4年 1月 服装専門学校廃止認可。(東京都葛飾区長・文部大臣)
- 平成 6年12月 調理師専門学校調理師専門課程専門調理技術科(修業年限2年)設置。
(東京都葛飾区長)
- 平成 7年12月 短期大学専攻科食物栄養専攻設置。(文部大臣)
- 平成 8年 1月 短期大学専攻科食物栄養専攻学位授与機構長認定。
- 平成 8年12月 調理師専門学校調理師専門課程専門技術修了者に専門士の称号授与の
課程認定。(文部大臣)
- 平成14年11月 短期大学食物栄養学科食品科学専攻製菓・製パンコースを製菓衛生師養成
施設として指定。(厚生労働大臣)
- 平成15年 5月 公開講座を葛飾区教育委員会と共催実施を締結。
- 平成16年11月 東京聖栄大学設置認可(文部科学大臣)。開設時期平成17年4月1日。
- 平成17年 2月 健康栄養学部食品学科食品衛生管理者及び食品衛生監視員養成施設登録
(厚生労働大臣)
- 平成17年 3月 健康栄養学部管理栄養学科の栄養士養成施設内容変更承認(厚生労働大臣)
- 平成17年 3月 健康栄養学部管理栄養学科の管理栄養士養成施設の指定(厚生労働大臣)
- 平成18年 5月 放送大学と単位互換協定締結
- 平成18年 9月 聖徳栄養短期大学廃止認可
- 平成19年 6月 法人名を学校法人東京聖栄大学に変更
- 平成21年 4月 東京聖栄大学健康栄養学部食品学科にフードサイエンスコース、フードビジネスコースを設置
- 平成21年 4月 聖徳調理師専門学校調理師専門課程調理師科入学定員120名を80名に変更
- 平成22年 4月 聖徳調理師専門学校調理師専門課程専門調理技術科生徒募集停止
- 平成24年 4月 聖徳調理師専門学校調理師専門課程専門調理技術科廃止
- 平成25年 4月 聖徳調理師専門学校の校名を東京聖栄大学附属調理師専門学校と改称

5 平成24年度入学志願者数、受験者数、合格者数、入学者数、卒業生数

東京聖栄大学 健康栄養学部

学科	定員	志願者数	受験者数	合格者数	入学者数	卒業生数
管理栄養学科	80	378	359	154	86	71
食品学科	80	157	153	133	91	47
計	160	535	512	287	177	118

聖徳調理師専門学校

学科	定員	志願者数	受験者数	合格者数	入学者数	卒業生数
調理師科 (1年課程)	80	62	62	61	61	51
計	80	62	62	61	61	51

東京聖栄大学 附属わたなべ幼稚園

	年少	年中	年長	計	卒園児数
定員	90	105	105	300	98
新入園児数	92	16	0	108	
園児数計	98	107	99	304	

参考

〈平成25年度入学志願者数、受験者数、合格者数、入学者数〉

東京聖栄大学 健康栄養学部

学科	募集人員	志願者数	受験者数	合格者数	入学者数
管理栄養学科	80	599	577	173	88
食品学科	80	179	176	123	92
計	160	778	753	296	180

東京聖栄大学附属調理師専門学校

学科	定員	志願者数	受験者数	合格者数	入学者数
調理師科 (1年課程)	80	80	78	78	75
計	80	80	78	78	75

東京聖栄大学 附属わたなべ幼稚園

	年少	年中	年長	計
募集人(定員)	90	105	105	300
新入園児数	82	13	0	95
園児数計	89	107	107	303

参考

平成25年5月1日現在

入学定員、学生数の状況

		入学定員	収容定員	現 員
東京聖栄大学 健康栄養学部	管理栄養学科	80	320	352
	食 品 学科	80	320	310
	計	160	640	662

		入学定員	収容定員	現 員
聖徳調理師専門学校 調理師専門課程	調理師科	80	80	75
	計	80	80	75

		入学定員	収容定員	現 員
東京聖栄大学附属わたなべ幼稚園		300	300	303

II 平成 24 年度事業概要

本年は教育環境の整備計画の一環として新校舎 7 号館の校舎建築に着手しました。これは中長期計画に基づくものですが、大学開学後の平成 18 年 1 月に竣工した隣接の 6 号館と併せて、健康栄養学部食品学科の充実を図るため、教育研究施設をできるだけ統合し、より円滑に教育・研究機能を発揮できるよう現在旧テニスコート跡地に建築中で、平成 25 年度秋には竣工の予定となっています。

また、本学福澤美喜男学長が平成 24 年度末日を以って退任するため、所定の手続きにより、後任に松本信二学部長が選出されました。これに伴い学部長等の選任も行われ次年度は重任された福澤理事長のもと、新体制で臨むこととなります。

平成 24 年度の事業概要についてつぎのとおりご報告いたします。

(I) 大学教育研究

1 自己点検評価に向けた作業の継続

健康栄養学部のアドミッションポリシー（本学が求める学生像）カリキュラムポリシー（教育目標に基づく教育課程）ディプロマポリシー（卒業判定指針）の基本方針のもと、2 学科それぞれの「入学者受入れ方針」を改めて制定しました。

昨年度、認証評価機関の一つである公益財団法人「日本高等教育評価機構」の認証評価を受審し、同機構から大学評価基準を満たしていると認定されましたが、恒常的自己点検に向け、新たに自己点検評価検討委員会を設置して、今回の認証評価で指摘された事項を中心に検討し、改善作業を進めています。本学の存在意義を明確に規定する観点から、「栄養・食品の専門分野の研究・教育」機能を軸に「健康・栄養・食品に係る職業人養成」を教育成果とし、「社会貢献機能（地域貢献、産学官連携、国際交流等）」に発展する大学システムを構築する。」としました。また、組織の整備については、本学の基本的組織図、運営体制組織図の不備が指摘されており検討を加え、整備を進めています。

2 7 号館の建設

7 号館（鉄骨造 3 階建 延べ 1528.02 m²）は本年 11 月に着工し、平成 25 年 8 月末竣工予定で建築工事を施工しています。工事は順調に進捗し、教育環境、研究環境整備の一段の充実を図ってまいります。

3 教育の質の向上

一 教育課程

本学教務委員会にて鋭意検討を重ねてきた各学科教育課程について、平成 24 年度新生から共通科目として「リテラシー」を設置、大学で学ぶ意味、方法を理解し、自ら学習を行うにあたって情報検索、収集、文献の適切な利用、レポート作成まで、大学で学

ぶ基礎を身に付けさせることとしています。管理栄養学科では 「管理栄養士概論」を学科基幹科目として新設し、入学後のガイダンス宿泊研修や授業を通して管理栄養士の理解をすすめ、また個々の食事調査から食と健康のかかわりを実感させるなど、学習への動機付けと高揚に努めています。今年度の特徴は4年次のゼミナールⅠ・Ⅱを開講し、学生の希望する専門教科のゼミに配属し、専門性の充実と効果的な国家試験対策を目指すこととしています。共通教育センターは、基本計画の段階で未だ実施に至ってはいませんが、入学前教育の支援及び教養教育の中でリテラシー教育、リメデイアル教育体制を一部導入し、特に「化学」「英語」については習熟度別にクラスを分け、さらに食品学科の学生は特に実験基礎技術修得に重きをおくため、再履修者に集中実験として「化学実験」を夏期休暇中に行うなど、学習支援体制を整えつつあります。

一 FD 活動の推進

大学のFD活動については認証評価で特に指摘されている処ですが、学生評価による授業アンケートをこれまでの担当教員以外の教員にも公開して、その有効活用を促し、さらに学内で一部の授業ではありますが教員相互の授業参観を行うことにより、授業への反映を期しています。その他FD・SD合同研修会の夏期開催、学外で開催されるFD関連研修会への積極的参加など教員個々の教育力の充実を図ってきています。

一 図書館の改善

蔵書の一層の充実を図り、学生の勉学や研究用図書に供するよう努めました。また、学生が図書館をより身近に親しみを持てるよう「図書館だより」を発行しました。

4 学生支援体制の強化推進

一 学生の就職支援

幾分曙光が見えたとは言え不況が続き、学生の就職状況には依然厳しいものがありますが、就職支援体制の充実対策として、学生の就職への意欲を向上させ、就職率を高める体制を構築するため、今年度末に就職支援アドバイザーを配置することとしました。学生への強力な支援となることを期待しています。

就職状況

就職内定率 学部合計 97.0% (前年 90.9%)

内定先

<公務員> 東京都(5)、千葉県、船橋市

<管理栄養士職> オーククリニック病院 社会福祉法人 梅田福祉会 葛飾会かつしか苑 湖山医療福祉グループ さくらぎ会 サンライフ 双樹会 馬橋福祉会 (株)ユニマツトそよ風 葛飾区つつみ保育園 久留米みのり保育園 洗足池保育園 育正保育園 ひかり学園 レインボー保育園

<一般企業> 伊藤製パン(株) (株)柿安本店 三州製菓 (株)山武郡市農業共同組合 (株)叙々苑 (株)すかいらく (株)ニッセーデリカ

(株) 富士商事 フジパン (株) (株) ミリオンエンタプライズ (株) ラムラ 和幸商事(株)

— 管理栄養士国家試験

本学4期生の平成24年度管理栄養士国家試験合格率は93.7%でしたが、本年25年3月実施の国家試験合格率は78.7%となりました。

— 食品学科では新たに、食品微生物検査技士受験講座を導入しました。同学科で実技研修を受けるメリットが登録した資格認定協会から認められていることから、学生たちには大きな期待が寄せられており、社会への活躍の場を広げていきたいと考えます。なお、本年は2名受験し1名が合格しています。また、4年生のフードスペシャリスト資格認定試験本年の合格率は75.7%で前年を若干上回りました。

— 経済的支援奨学金の創設

本学独自の奨学金制度の充実として、経済的支援奨学金の創設が決定され、国の教育ローン融資を受けた学生（学納金支弁者）について利子補給奨学金として、所定選考基準を満たした者に在学中利子補給を行い、奨学に資することとしましたが、本年度は4名が採用されました。

5 研究活動の活性化

— 研究環境の充実

大学の質の保証が求められている観点から、研究レベルの向上は必要不可欠の要件となります。本学の研究活動については、認証評価においても活性化が求められており、特に若手研究者(教員)支援に重点をおいて研究費を支給し、研究環境の充実を図っています。

— 受託研究

産学連携は研究活動の活性化に繋がり重要であるといえます。本年度は2件（秋田県稲庭うどん協同組合、福島県はなわ物産協同組合）の受託研究がなされましたが、教員個人ではなく、学内教員によるプロジェクトチームを組織するなど、行政、学外研究機関、地方地場産業との連携を積極的に推し進めることが、外部資金の導入と産業や地域の活性化ともなると考えます。

6 (7) 入試関係

第2志望制、一般入試Ⅲ期、センター利用入試Ⅲ期、公募制推薦入試Ⅱ期の実施など昨年に引き続き実施して志願者数確保に努め、さらに食品学科一般入試Ⅱ期・Ⅲ期に2科目入試を導入するなど入試方法を見直しました。志願者総数は前年比45.4%増となり、両学科共入学定員が充足されました。

<附設校>

附設校について次に記載いたします。

－ 1）聖徳調理師専門学校

- ・校名の変更

大学との連携、交流を深め同一法人設置の専門学校としての位置づけを明確化するとして**東京聖栄大学附属調理師専門学校**として所轄官庁に名称変更手続きを行いました。（変更は平成 25 年 4 月 1 日）

- ・施設・設備

調理用設備機器の更新

- ・就職状況

内定率 87.8% （前年 95.6%）

主な就職先 日本料理、西洋料理、給食関係 各 20～30%
中国料理、製菓等 各 9%

ホテルグランドパレス、霞ヶ関東海倶楽部、東武ホテルマネジメント
リビエラ東京、カーディナル、アラスカ、根ぎし宮川、伊豆榮、天津飯店
ニッコトラスト、グリーンハウス、船食三幸、藤給食

- ・自己点検評価への継続的取り組みとして学生の授業評価を行っています。

－ 2）大学附属わたなべ幼稚園

- ・預かり保育の充実（子育て支援）

預かり保育、超時間保育を希望する保護者への積極的対応を行っています。

- ・食育活動（保護者への啓蒙）

栄養学的観点に留まらず、市内で数少ない自校式給食を生かした食育活動、指導を推進し、食生活を通して心身の正常な発達と体力作りを行いました。

- ・施設・設備の整備

給食調理室に調理用設備機器の新規導入 大型通園バスの入れ替え更新

- ・地域社会との絆

幼児教室、未就園児親子、地域社会との交流

- ・自己点検評価へ年次計画による取り組み

（Ⅱ）地域貢献、公開講座

地域貢献、公開講座として次の事業を行いました。

- 1 公開講座 葛飾区教育委員会と共催、大学講座 1 講座 専門学校 1 講座 大学「健康栄養講座」、専門学校「お菓子作り講座」（以上かつしか区民大学講座の指定）大学はこのほか「小学生対象親子講座」を実施しました。
- 2 地域貢献 食育推進等を通じた地域貢献、社会貢献への取り組み

- ・葛飾区食育推進計画、食育サポーター事業（かつしか知っ得メモ）を継続実施して地域の食育推進を支援しています。
- ・東京都食育フェア（第6回10月開催）に参加 日本フードスペシャリスト協会の助成により、「がんばれ東北 各県の特産品を使った加工食品・料理メニュー展」に米粉を用いたクッキー、脱脂エゴマの製パン、クッキー製造への利用など学生が試作しその内容をポスター展示しました。
- ・全国栄養士養成施設協会の後援を得て“食生活診断”“骨密度測定”などをテーマに食育活動を行いました。

（Ⅲ）管理運営

管理運営等主要なものは以下のとおりです。

- ・管理運営体制整備
 - 常務理事会月次定例開催
 - 内部監査の充実
- ・財務基盤の強化
 - 収入と支出の統制、財務分析の継続 競争的資金導入、寄付金増収への努力
- ・人事計画 人件費対策
 - 就業規則の一部改正を行い、教員の定年年齢を次年度から引き下げを実施
- ・危機管理体制の見直し
 - 年次計画による防災用機器の充実と保存食などの備蓄計画に従い整備を継続
 - 消防避難訓練を実施
- ・学則ほか諸規程の整備
 - 規程の整備（大学諸規程ほか）新規規程の制定
- ・事務組織の活性化
 - S D活動 計画的な研修の継続実施 事務機構一部改編
 - 業務改善——教学事務の効率化（Web履修登録、成績登録システム化、Webシラバス構築）

（Ⅳ）施設設備 教育環境整備

校舎7号館建築着工のほか充実を図っています。

- ・大学 教育用実験機器備品、研究用機器備品の新規購入および更新
 - 講義室用マイク、スピーカーの更新
- ・専門学校・幼稚園設備は前掲
- ・学内ネットワーク機器類更改（コアスイッチほか）、ファイルサーバHDD増設
P C端末、ネットワークプリンター更改など